

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	医療連携に関して十分な体制が取れておらず、終末期介護に対しての不安が多い。現場の職員も大変不安に感じており、看取りまで入居して頂く事が難しい。	訪問診療体制を近隣医師にお願いして、重度化した入居者への対応を可能とする。	訪問診療の可能な医師との連携をどうするか、ホームと医療機関との間でよく話し合い実現していく。同時に訪問診療や訪問看護が実現した場合を想定して職員の間でも勉強会や会議の場で終末期介護についての知識を共有する。	6ヶ月
2	35	巨大地震など大規模な災害が発生した場合の救助・避難についてまで、細かい話し合いができていない。避難先は決めてあるが、そこに避難できない状況の時どうするかまで話し合いができていない。	世界各地でおきている巨大災害を対岸の灯火とせず、危機意識を持つ。複数の避難先を確保すると共に、最悪の状況下でも落ち着いて行動ができるように日頃の訓練を実施する。	大災害を想定した避難訓練を行う。また、災害時に通報する関係機関の一覧表もよく目立つ場所に複数張り出して迅速な避難・救助体制を整える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。